

教科名	保健体育	単位数	1		担 当	
科目名	体育	必修 選択	必修	選択	学 年	1
教科書 副教材等	無し					
選択対象者						
科目の 目 標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成することを目指す。					
身に付けさせたい資質・能力						
健康・体力、行動力、思考力・判断力・表現力、自己主張力、情報収集・発信力、人間力、忍耐力						
1 授業内容・具体的目標						
<p>(1) 各種目の目的に向けた運動を通して、運動の楽しさや喜びを感じ、人生において運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力するなどの意欲を育むとともに、健康・安全を通して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。</p>						
2 授業の進め方						
<ul style="list-style-type: none"> ・運動に対して、自己の能力や興味・関心を高めることを目標に学習を進める。 ・陸上競技では、測定を中心に授業を展開する。 ・球技では、基礎的な動作習得を中心に展開する。 ・器械運動では、技の習得を段階別に分けて実施する。 ・武道では、基礎的な動作、礼法の習得を目指す。 ・体育理論では、運動・スポーツの文化的特徴について講義の上、レポートを作成し学習する。 						
3 評価の規準						
<p>【知識・技能】運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力するなどの意欲を育むとともに、健康・安全を通して、生涯にわたって継続して運動に親しもうとしている。</p>						
4 評価の方法						
<p>【知識・技能】ワークシートの内容。各種目の技能テストや運動の様子。</p> <p>【思考・判断・表現】ワークシートの内容。グループワークでの発言、仲間との関わり方や練習の仕方。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】提出物。準備・後片付け、授業態度。</p> <p><成績(評定)>の付け方 「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点について、達成率をもとにABCで評価。達成率を1:1:1の割合で合計して評定を付ける。</p>						

5 授業計画				
月	領域・単元 (時数)	学習内容	各単元における評価	身に付けさせたい 資質・能力
4	オリエンテーション (1)	目標や注意、連絡事項等の 確認。	主体的に取り組もうとしている か。	人間力
	体づくり運動 (10)	体づくり・体ほぐし運動 実生活に生かす運動の計画 集団行動、体力テスト	体づくり運動の行い方や実生活へ の取り入れ方を理解しているか。	健康・体力、 行動力
5	器械体操 マット運動 (12)	接転技群・ほん転技群・平 均立ち技群 技を構成し演技する	基本的な技を安定しておこなうこ とができるか。 学習する技の動き方の改善すべ きポイントを理解しているか。	思考力、判断 力・表現力、 自己主張力
	陸上競技 短距離走 (6) 持久走 (6)	100m走 リレー 1500m走、1000m走	安定したフォームで走れている か。 体力の高め方や運動観察の方法を 理解しているか。	忍耐力、 健康・体力、
6	球技 ソフトボール (13)	バッティング、スローイン グ、キャッチング、走塁 連携・作戦 試合形式	攻防展開のために安定したバット 操作と走塁、ボール操作と連携した 守備ができるか。 ルールを理解できているか。	行動力、 自己主張力
	体育理論 (6)	スポーツの文化的特性や現 代のスポーツの発展	スポーツの歴史や文化的価値につ いて、学習したことを言ったり書き 出したりしているか。	情報収集・発信 力、 思考力・判断 力・表現力
7	薬物乱用防止講演会 (2)	違法薬物等について 薬物乱用の危険性について 薬物乱用の防止について	薬物乱用についての知識を身に つけ、予防・対策について自分で考 えたり、そのような態度を身に つけようとしているか。	人間力
8	武道 柔道 (13)	柔道の精神 受身、投げ技・寝技 試合形式	基本的な技ができているか。 技の名称や練習方法について、学 習した具体例を挙げているか。	人間力、 忍耐力、
9	球技 バレーボール (12)	各種パス、サーブ、スパイ ク 連携・作戦 試合形式	安定したボール操作ができている か。 競技を通じた体力の高め方を理解 できているか。	行動力、 健康・体力
10	球技 バスケットボール (12)	パス、ドリブル、各種シュ ート 連携・作戦 試合形式	安定したボール操作ができている か。 戦術や作戦に応じたポイントを理 解することができているか。	思考力・判断 力・表現力、 人間力
11	球技 バドミントン (12)	各種ショット、サーブ 連携・作戦 試合形式	相手の動きを把握し、開いた空間 を狙えているか。 試合の進め方について理解してい るか。	自己主張力、 情報収集・発信 力
12				

時数合計 (105)

教科名	保健体育	単位数	3		担 当	
科目名	体育	必修 選択	必修	選択	学 年	2
教科書 副教材等	無し					
選択対象者						
科目の 目 標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成することを旨とする。					
身に付けさせたい資質・能力						
健康・体力、行動力、思考力・判断力・表現力、自己主張力、情報収集・発信力、人間力、忍耐力						
1 授業内容・具体的目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・授業では、体づくり運動（集団行動、体力測定、サーキットトレーニング・ストレッチングなど）、陸上競技（短距離走、持久走）、球技（ソフトボール、バレーボール、バスケットボール、バドミントン）、器械運動（マット運動）、武道（柔道）、体育理論の学習を行う。 ・運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう自ら進んで運動しようとするとともに、公正・協力・責任などの態度を身につけ、健康・安全に留意して運動をしようとする力を身につける。 ・自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題解決を目指して、活動の仕方を考え、工夫できる力を身につける。また、各種目の運動の技能を高める。 ・社会の変化とスポーツ、運動技能の構造と運動の学び方、体ほぐしの意識と体力の高め方に関する基礎的な事項を理解し、知識を身につける。 						
2 授業の進め方						
<ul style="list-style-type: none"> ・運動に対して、自己の能力や興味・関心を高めることを目標に学習を進める。 ・陸上競技では、測定を中心に授業を展開する。 ・球技では、基礎的な動作の習得と共に、ゲームの中でその技術を発揮できるよう授業を進める。 ・器械運動では、技の習得を段階別に分け、演技の完成度を高められるよう練習時間を確保する。 ・武道では、基礎的な動作の習得と共に、相手の動きに応じた攻防ができるよう授業を進める。 ・体育理論では、運動・スポーツの学び方について講義の上レポートを作成し学習する。 						
3 評価の規準						
<p>【知識・技能】運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力するなどの意欲を育むとともに、健康・安全を通して、生涯にわたって継続して運動に親しもうとしている。</p>						
4 評価の方法						
<p>【知識・技能】ワークシートの内容。各種目の技能テストや運動の様子。</p> <p>【思考・判断・表現】ワークシートの内容。グループワークでの発言、仲間との関わり方や練習の仕方。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】提出物。準備・後片付け、授業態度。</p> <p><成績（評定）>の付け方 「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点について、達成率をもとにABCで評価。達成率を1：1：1の割合で合計して評定を付ける。</p>						

5 授業計画				
月	領域・単元 (時数)	学習内容	各単元における評価	身に付けさせたい 資質・能力
4	オリエンテーション (1)	目標や注意連絡事項の確認。	主体的に取り組もうとしているか。	人間力
	体づくり運動 (10)	体づくりや体ほぐし運動 実生活に生かす運動の計画 集団行動、体力テスト	体を動かす楽しさを仲間と分かち 合い、実生活に運動を活かそうとし ているか。	健康・体力、 行動力
5	器械体操 マット運動 (12)	接転技群・ほん転技群・平 均立ち技群 技を構成し演技する	自己の能力に応じた連続技や複合 技ができるか。 学習する技の動き方に関して自他 の改善すべき点を伝えているか。	思考力、判断 力・表現力、 自己主張力
	陸上競技 短距離走 (6) 持久走 (6)	100m走 リレー 1500m走、1000m走	高いスピードを維持して走れてい るか。 陸上競技に主体的に参加している か。	忍耐力、 健康・体力、
6	球技 ソフトボール (13)	バッティング、スローイン グ、キャッチング、走塁 連携・作戦 試合形式	状況に応じたバット操作と走塁、 ボール操作と連携した守備ができ るか。 フェアプレーを大切にしている か。	行動力、 自己主張力
	体育理論 (6)	運動やスポーツの効果的な 学習の仕方	スポーツの効果的な学習の進め方 について、学習したことを言ったり 書き出したりしているか。	情報収集・発信 力、 思考力・判断 力・表現力
7	薬物乱用防止講演会 (2)	違法薬物等について 薬物乱用の危険性について 薬物乱用の防止について	薬物乱用についての知識を身につ け、予防・対策について自分で考え たり、そのような態度を身につけよ うとしているか。	人間力
8	武道 柔道 (13)	柔道の精神 受身、投げ技・寝技 試合形式	安全を確保すると共に、連携技を 身に付け、相手を尊重し、礼法など 伝統的な行動の仕方を大切にしよう としているか。	人間力、 忍耐力、
	球技 バレーボール (12)	各種パス、サーブ、スパイ ク 連携・作戦 試合形式	状況に応じたボール操作ができて いるか。 チームの課題を見直し、改善する ための練習方法を探しているか。	行動力、 健康・体力
9	球技 バスケットボール (12)	パス、ドリブル、各種シュ ート 連携・作戦 試合形式	安定したボール操作と、空間を作 り出す動きができるか。 作戦などの話し合いの場で、集団 に貢献しようとしているか。	思考力・判断 力・表現力、 人間力
	球技 バドミントン (12)	各種ショット、サーブ 連携・作戦 試合形式	相手の動きを把握し、開いた空間 を狙おうとしているか。 試合の進め方について学習したこ とを理解しているか。	自己主張力、 情報収集・発信 力

時数合計 (105)

教科名	保健体育	単位数	2		担当	
科目名	体育	必修 選択	必修	選択	学年	3
教科書 副教材等	無し					
選択対象者						
科目の 目 標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成することを目指す。					
身に付けさせたい資質・能力						
健康・体力、行動力、思考力・判断力・表現力、自己主張力、情報収集・発信力、人間力、忍耐力						
1 授業内容・具体的目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・授業では、体づくり運動（集団行動、体力測定、サーキットトレーニング・ストレッチングなど）、陸上競技（短距離走、持久走）、球技（バレーボール型、ネット型、ゴール型）、体育理論の学習を行う。 ・運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう自ら進んで運動しようとするとともに、公正・協力・責任などの態度を身につけ、健康・安全に留意して運動をしようとする力を身につける。 ・自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題解決を目指して、活動の仕方を考え、工夫できる力を身につける。また、各種目の運動の技能を高める。 ・豊かなスポーツライフに関する基礎的な事項を理解し、知識を身につける。 						
2 授業の進め方						
<ul style="list-style-type: none"> ・運動に対して、自己の能力や興味・関心を高めることを目標に学習を進める。 ・陸上競技では、測定を中心に授業を展開する。 ・球技では、基礎的な動作の習得と共に、ゲームの中でその技術を発揮できるよう授業を進める。 ・器械運動では、技の習得を段階別に分け、演技の完成度を高められるよう練習時間を確保する。 ・武道では、基礎的な動作の習得と共に、相手の動きに応じた攻防ができるよう授業を進める。 ・体育理論では、運動・スポーツの学び方について講義の上レポートを作成し学習する。 						
3 評価の規準						
<p>【知識・技能】運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力するなどの意欲を育むとともに、健康・安全を通して、生涯にわたって継続して運動に親しもうとしている。</p>						
4 評価の方法						
<p>【知識・技能】ワークシートの内容。各種目の技能テストや運動の様子。</p> <p>【思考・判断・表現】ワークシートの内容。グループワークでの発言、仲間との関わり方や練習の仕方。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】提出物。準備・後片付け、授業態度。</p> <p><成績（評定）>の付け方 「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点について、達成率をもとにABCで評価。達成率を1：1：1の割合で合計して評定を付ける。</p>						

5 授業計画				
月	領域・単元 (時数)	学習内容	各単元における評価	身に付けさせたい 資質・能力
4	オリエンテーション (1)	注意連絡事項の確認		人間力
5	体づくり運動 (8)	体づくりや体ほぐしの運動を通して、体の動かし方を知ると共に、体力を高める。集団行動や体力テストも行う。	合意形成に貢献しようとしているか。また、互いに助け合い教え合おうとしているか。	健康・体力、行動力
6	陸上競技 短距離走 (6) 持久走 (6)	定められたルールや条件の下で競い合い、その楽しさを味わう。走法・呼吸法を理解し、それぞれの距離で目標を設定し、可能な限りの努力をする。	高いスピードを維持して走ることができるか。 陸上競技の学習に主体的に取り組もうとしているか。	忍耐力、健康・体力
7	球技： ソフトボール (13)	基本動作を活用し、互いに協力し楽しむとともにルールを理解し攻防を展開する。	状況に応じたバット操作と走塁、ボール操作と連携した守備ができるか。 フェアプレーを大切にしようとしているか。	行動力、自己主張力
8	体育理論 (6)	生涯に渡り豊かなスポーツライフを送るための基礎知識を身に付け、実践するための方法を考察する。	各ライフステージにおけるスポーツの楽しみ方について、学習したことを言ったり書き出したりしているか。	情報収集・発信力、思考力・判断力・表現力
9	薬物乱用防止講演会 (2)	違法薬物等について 薬物乱用の危険性について 薬物乱用の防止について	薬物乱用についての知識を身につけ、予防・対策について自分で考えたり、そのような態度を身につけようとしているか。	人間力
10	選択Ⅰ：球技 (14) バドミントン ・バレーボール	状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開する。	互いに助け合い高めあおうとしているか。 空間を作り出すための、状況に応じた動きができるか。	行動力、健康・体力、自己主張力、
11	選択Ⅱ：球技 (14) バスケットボール ・サッカー	状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの連携した動きによって空間への侵入などから攻防を展開する。	互いに助け合い高めあおうとしているか。 状況に応じて空間への侵入の動きや、空間を埋めるための動きができるか。	思考力・判断力・表現力、人間力、情報収集・発信力
12				
1				

時数合計 (70)

教科名	保健体育	単位数	1		担 当	
科目名	保健	必修 選択	必修	選択	学 年	1
教科書 副教材等	現代高等保健体育（大修館）、現代高等保健体育ノート（大修館）					
選択対象者						
科目の 目 標	保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、将来を通じて人々が自らの健康や環境を大切に管理し、改善していくための資質・能力を身に付ける。					
身に付けさせたい資質・能力						
健康・体力、行動力、思考力・判断力・表現力、自己主張力、情報収集・発信力、人間力、忍耐力						
1 授業内容・具体的目標						
<p>(1) 個人及び社会生活における健康。安全について理解を深めるとともに、技能を身に付ける。</p> <p>(2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>						
2 授業の進め方						
<ul style="list-style-type: none"> ・教科書のそれぞれの内容について基礎知識を学ぶとともに、課題を設定し、その解決に向けた学習を行う。 ・知識・技能のまとめとして定期的にテストを行う。 ・ビデオや新聞記事などを活用し、現代社会で起きている課題を把握し、レポートを用いて意見や解決方法を整理する。調べ学習を踏まえて、発表する場合もある。 						
3 評価の規準						
<p>【知識・技能】個人及び社会生活における健康、安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。</p> <p>【主体的に取り組む態度】生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養っている。</p>						
4 評価の方法						
<p>【知識・技能】定期的なテスト。</p> <p>【思考・判断・表現】ワークシート・レポートの内容、グループワーク等の発言、調査・考察・発表の内容。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】提出物の内容、授業中の態度、学習の振り返り。</p> <p><成績（評定）>の付け方</p> <p>「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点について、達成率をもとにABCで評価。達成率を1：1：1の割合で合計して評定を付ける。</p>						

5 授業計画				
月	領域・単元 (時数)	学習内容	各単元における評価	身に付けさせたい 資質・能力
4	オリエンテーション (1)	目標、注意や連絡事項の確認。	主体的に授業に参加しているか。	人間力
5	健康の考え方(5)	国民の健康課題 健康の考え方と成り立ち 保健の保持増進のための適切な意思決定や行動選択と環境づくり	国民の健康について理解することができたか。 健康に対する考え方を通して個々の課題を理解することができたか。	健康・体力、 忍耐力
6				
7	生活習慣病などの予防と考え方(6)	生活習慣病の予防と回復 がんの原因と予防 がんの治療と回復 運動と健康 食事と健康 休養・睡眠と健康	がんをはじめとした生活習慣病の予防策とそれらの課題について理解することができたか。	自己主張力、 行動力
8	喫煙、飲酒、薬物乱用と健康(7)	喫煙、飲酒と健康 薬物乱用と健康	喫煙や飲酒による悪影響やそれらに対する適切な対策を理解することができたか。 薬物乱用の危険性や適切な防止法について理解することができたか。	思考力・判断力・表現力、 人間力
9				
10	精神疾患の予防と回復(4)	精神疾患の特徴 精神疾患への対処	精神疾患の症状などの基本について理解することができたか。 精神疾患への対処について理解することができたか。	忍耐力、
11				
12	現代の感染症とその予防(4)	現代の感染症 感染症の予防 性感染症・エイズとその予防	感染症の変容やそれらの対策について理解することができたか。	健康・体力
1				
2	安全な社会づくり(4)	事故の現状と発生要因 安全な社会の形成 交通安全	交通事故が起こる背景、個々の責任を理解することができたか。	情報収集・発信力
3	応急手当(4)	応急手当の意義 日常的な応急手当 心肺蘇生法	応急手当の意義、方法を理解することができたか。 応急手当、心肺蘇生法を行うことができるか。	行動力

時数合計 (35)

教科名	保健体育	単位数	1		担 当	
科目名	保健	必修 選択	必修	選択	学 年	2
教科書 副教材等	現代高等保健体育（大修館）、現代高等保健体育ノート（大修館）					
選択対象者						
科目の 目 標	保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、将来を通じて人々が自らの健康や環境を大切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり身に付ける。					
身に付けさせたい資質・能力						
健康・体力、行動力、思考力・判断力・表現力、自己主張力、情報収集・発信力、人間力、忍耐力						
1 授業内容・具体的目標						
<p>(1) 個人及び社会生活における健康。安全について理解を深めるとともに、技能を身に付ける。</p> <p>(2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>						
2 授業の進め方						
<ul style="list-style-type: none"> ・教科書のそれぞれの内容について基礎知識を学ぶとともに、課題を設定し、その解決に向けた学習を行う。 ・知識・技能のまとめとして定期的にテストを行う。 ・ビデオや新聞記事などを活用し、現代社会で起きている課題を把握し、レポートを用いて意見や解決方法を整理する。調べ学習を踏まえて、発表する場合もある。 						
3 評価の規準						
<p>【知識・技能】個人及び社会生活における健康。安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養っている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。役立つ知識を身につけている。</p>						
4 評価の方法						
<p>【知識・技能】定期的なテスト</p> <p>【思考・判断・表現】ワークシート・レポートの内容、グループワーク等の発言、調査・考察・発表の内容。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】提出物の内容、授業中の態度、学習の振り返り。</p> <p><評価（評定）>の付け方</p> <p>「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点について、達成率をもとにABCで評価。達成率を1：1：1の割合で合計して評定を付ける。</p>						

5 授業計画				
月	領域・単元 (時数)	学習内容	各単元における評価	身に付けさせたい 資質・能力
4	オリエンテーション (1)	目標、注意や連絡事項の確認。	主体的に授業に参加しているか。	人間力
5	生涯の各段階における健康(9)	思春期と健康 結婚生活と健康	思春期から中高年期にかけての健康課題に応じた環境づくりを理解し、自他の課題を発見したり性に関する情報をまとめたりしているか。	自己主張力、 健康、体力
6				
7	労働と健康(5)	労働災害と健康 働く人の健康の保持増進	労働災害を防止するには適切な管理をすることが必要なことを理解し、個人や社会の取組を整理したりしているか。	忍耐力
8				
9	環境と健康(7)	環境の汚染と健康 環境と健康に関わる対策 環境衛生に関わる活動	産業活動と環境汚染の関係性や汚染防止の方法を理解し、自他や社会の課題を発見したりしているか。	情報収集・発信力、 行動力
10	食品と健康(4)	食品の安全性 食品衛生に関わる活動	食品の安全性が健康促進につながることや、食の安全を守るための様々な取り組みを理解し、健康を守るための計画を立てたりしているか。	思考力・判断力・表現力
11	保健・医療制度及び地域の保健・医療機関(5)	我が国の保健・医療制度 地域の保健・医療制度の活用	健康を保持増進するための関係機関やそれを適切に活用する必要があること、医薬品の適切な使用方法を理解し、まとめたりしているか。	行動力、 情報収集・発信力
12		医薬品の制度とその活用		
1	様々な保健活動や社会的対策(2)	様々な保健活動や社会的対策	自他国では健康課題に対して様々な対策が行われていることを理解し、得た情報を整理し、生活の質の向上に向けた課題解決に応用したりしているか。	思考力・判断力・表現力
2				
3	健康に関する環境づくりと社会参加(2)	健康に関する環境づくりと社会参加	ヘルスプロモーションの考え方やそれを積極的に活用していくことが健康の保持増進に繋がること、実現のためには適切な健康情報の活用が有効であることを理解し、ノートなどに記述して、道筋を立てて説明したりしているか。	健康、体力

時数合計 (35)

教科名	保健体育	単位数	2		担 当	
科目名	生涯スポーツ	必修 選択	必修	選択	学 年	3
教科書 副教材等	無し					
選択対象者	人文コース、資格教養コース					
科目の 目 標	・生涯スポーツの特性を理解し、現在から将来に向け、継続してスポーツの楽しさや重要性を伝えることができるような資質や能力を育成する					
身に付けさせたい資質・能力						
健康・体力、行動力、思考力・判断力・表現力、自己主張力、情報収集・発信力、人間力、忍耐力						
1 授業内容・具体的目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・軽スポーツ、レクリエーションスポーツ及び創作スポーツを学習する。 ・地域の特性を生かしたスポーツ活動について学び、参加、協力する。 ・運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう自ら進んで運動しようとするとともに、公正・協力・責任などの態度を身につけ、健康・安全に留意して運動をしようとする力を身につける。 ・自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題解決を目指し、活動の仕方を考える等、工夫する力を身につける。 ・生涯にわたるスポーツライフを育成するために、全員が協力し合いスポーツを楽しむ態度を身につける。 						
2 授業の進め方						
<p>学習の目標を達成するために、次のように学習を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯スポーツの考え方や特性を学び、実践する。 ・全てのスポーツ、運動を男女混合で行う。 ・全員が楽しむためにはどうすればよいのかを考え、集団にあったルール作成を行う。また、創作スポーツでは、グループごとにオリジナルのスポーツを創作し、全員で実演・評価を行う。 ・運動に対して、自己の能力や興味・関心を高めることを目指し学習を進める。 						
3 評価の規準						
<p>【知識・技能】生涯スポーツの特性について、基礎的な事項を理解するとともに、他者に対し、活動の具体的方法を指示することができる。また、指示を聞き、的確に実践することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】自分自身やグループの課題解決を目指して活動の仕方を考え、工夫する。また、自分や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】自ら進んで計画的に運動を行う意欲を育むとともに、公正・協力・責任等の態度を身に付けようとしている。</p>						
4 評価の方法						
<p>【知識・技能】ワークシートの内容、創作スポーツ企画書及び授業の運営等。</p> <p>【思考・判断・表現】ワークシートの内容。グループワークでの発言、仲間の創作授業参加の仕方。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】提出物。準備・後片付けの協力、授業態度。</p> <p><成績（評定）>の付け方 「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点について、達成率をもとにABCで評価。達成率を1：1：1の割合で合計して評定を付ける。</p>						

5 授業計画				
月	領域・単元 (時数)	学習内容	各単元における評価	身に付けさせたい 資質・能力
4	オリエンテーション (3)	授業の目標や生涯スポーツの特性、注意連絡事項の確認をする。 年間計画例を提示し、生徒自身の手で年間計画を練り上げ、完成させる。	自ら進んで計画を立て、スポーツに関わろうとしているか。	人間力、 忍耐力
5	軽スポーツ (12)	生涯にわたり実施できるスポーツを実践し、豊かなスポーツライフの設計の仕方について学ぶ。また、地域の特性を生かしたスポーツを学び、実施する。	軽スポーツの特性を理解しているか、積極的にスポーツにかかわり、スポーツを楽しもうとしているか。	健康・体力、 行動力
6				
7	創作スポーツ (企画) (10)	全体として楽しめるスポーツ (種目・ルールなど) とその練習法を考える。	全員が楽しむためにはどうしたらよいか、深く考えようとしているか。	思考力・判断力・表現力、 情報収集・発信力
8	創作スポーツ (授業) (35)	授業の実施。各班に割り当てられた時間の授業を実施する。全員が協力し、生涯にわたりスポーツに携わる資質・能力を高める。 地域の特性を生かしたスポーツイベントへの参加、支援。	役割を積極的に引き受け、自己の責任を果たそうとしているか。 課題解決の過程を踏まえて、自己や仲間の課題を見直しているか。 改善点を指摘しているか。	自己主張力、 人間力、 思考力・判断力・表現力、 忍耐力
9				
10				
11				
12	レクリエーションスポーツ (10)	創作スポーツの実践から、新たな課題を発見し、その改善方法を考え実践する。	全員が楽しむための方法を深く考えているか。	健康・体力、 思考力・判断力・表現力
1				

時数合計 (70)